長屋選手へ　町ぐるみの支援

過疎と寒波をハネ返して最大級の明るい話題の中心人物、世界のヒノキ舞台にはばたく長屋真紀子選手にたいして、陸別町では町ぐるみの支援体制にとりくんでいます。

同選手が郷土入りした一月三日に結成された「長屋選手をはげます会」は、会長に深沢雪夫氏、副会長に金沢賢蔵、清野恵子の両氏事務局長に浜田誠氏を選び幹事には松台副議長、佐々木総務委員長、渡辺体育連盟会長、山本商工会長、新谷木材協会支部長ら二十二名、顧問には杉田町長、竹内議長、平林教育委員長、徳光教育長、岡田農協組合長、国安森林組合長、藤森営林署長、江馬陸別小学校長、松谷陸別郵便局長ら十五名を委嘱して組織づくりをし、町内の職域、地域に〝真紀子さんを励ましそう〟趣意書を配布する一方、一月十二日から白老町での全道高校スケート選手権大会（五百㍍、一千㍍ともに優勝）十九日から真駒内での全国高校選手権大会（二種目二年連続優勝）に会として陣中見舞におもむき、二十八日に世界選手権大会のため出国のさいは深沢会長金沢副会長、杉田町長らが羽田空港まで見送つて激励しました。

これまでにも各種の大会や強化合宿などにかなりの費用がかかり、同選手の父親一夫氏は造材に従事する労務者であるところから町内の共栄、東一条通りの住民が拠金して応援してきましたが、こんどは日本を代表しての海外遠征であり、これに参加するためには日本スケート連盟への負担金十五万円をふくめ渡航手続き、往復旅費、アメリカ、ヨーロッパで一カ月間の経費として五十五万円は必要なので町費補助を要請（二十三日の町議会で二十万円を議決）するとともに一般に激励資金カンパを求めました。

これにたいして町役場、営林署、郵郵局、駅、保線区、信金支店、小学校、中学校、高校、農改普及所、阪口木材、恵盛木材、田中木材、北糖、佐々木林業、菊地商事、渡辺木材、須藤木材、平林寺、井手木材、陸別金沢木材、杉田林業、陸別石油、作集地区、小利別地区、トラリ地区、トマム地区、中トマム地区などの職域、地域から八十七万二千円（一月二十五日現在）のカンパが寄せられました。

このあと会として二十六日に町役場で杉田町長、竹内議長の立会で深沢会長から長屋一夫氏にとりあえず七十万円を贈呈しましたが、こんご明年の世界選手権、明後年の冬期オリンピックがひかえているので、さらに長期的な支援活動をつづけていくことにしています。

議員定数は現員で

陸別議員協議会で結着

明年に迫つた改選期を前にして、過疎化の現状に即応して議会自ら姿勢をただして議員定数を削減すべきで現在二名の欠員でも問に合つているのだから十八名を十六名にしてはーとの矢鋪議員の提案について陸別町議会では昨年いらいこの処理は延び延びとなつていましたが、一月三十一日にひらいた議員協議会で（矢鋪議員は欠席）賛成、反対の論議をかわし十対三の形で現行どおりの定数をつづけることに結着をつけました。

この日の協議会ではこのほかに、国立寒地研究所の誘致運動をすすめるとともに、足寄町から要請があれば阿寒研究学園都市の誘致に協力する、小利別で実験中の川崎製鉄の研究班との交歓、資材高騰によつて町立診療所の新築費が一億五千万円の予定が二億円になる見込みなので起債獲得に理事者から議会の協力を求められたこと、元陸別小学校前の菊地商事所有地を土地開発公社によつて購入すること、畜産センターの運営などについて協議しました。

なお三日に小利別の現地で議会側と川崎製鉄側十七名との交歓会を開きました。

消防体制の一本化へ

三町で推進

池北三町消防事務組合では、広域消防の体制はできたが三町とも消防団が不参加という変則状態を打開するために、五日に足寄町役場で管理者、副管理者会議をひらきました。

この会議には管理者の小林町長、副管理者の水元町長、杉田町長に、消防本部から幡消防長、斉藤、小川堀籠次長らが出席して、道支庁から強く指摘され、各町の議会でも論議されているこの問題については、一本化したとしても消防署長が消防団長より格が上ということでなく、団長は従来どおり消防団の統括者として変りはないことを確認して、早急に一体化の推進をはかることになりました。

このために今月中旬ころに幡消防長が三町の消防団の分団長以上の幹部との話し合いをもつことにしました。

東、西小学校問題を考える

足寄町の中心校である西小学校の改築に関して理事者や教育委員会がなにかと苦労されていることは諒解しますが、あまりにも一貫しない視野の狭いすすめ方に疑問を感じます。

社会教育の一環としての運動公園が道知事の認可を得てから、西小学校のPTA（投書歓迎）がそこえ移転したいと言い出せばそこが一番よいとして動き出すなら、なぜ運動公園を決める前に気がつかないのか、学校用地を選定するのは誰れなのですか。

いくら環境がよいといつても国鉄線路をまたいで山の上に小学校を建てることはどうか、しかも運動公園の面積が減るので道庁では現在の西小用地を公園にするのが条件だといいますがそれでは商取引みたいで教育的ではなく、どこを公園にするかは町の計画と意志によるべきで、これでは内政干渉ではないですか。

全町民のための運動公園であるからにはスッキリとスポーツ専門の殿堂にすべきで、義務教育施設とゴッチャにしての間に合せ主義は百年の大計でありません。

しかも市街にある片一方の東小学校を農村部落の学校のように扱つて、西小学校中心重点の考え方を改めるべきでないでしようか。

西小の校地が狭いというのは下足寄、川向から南区中央区、東区、北区、西区から下愛冠までも通学区域にかかえているからで、東小が国道のバイパス用地にくい込まれて移転しなければならないとすれば、このさい市街地を二分した形で東西両校の併立を考えたらどうでしようか。

そうすれば西小の現校地の面積に応じた学級数に減らした学校に改築すればよいし、したがつて東小は西小程度の規模の学校を新築しなければならないと思います。

文部省では小学校は十二学級から十八学級くらいが適正規模だとしていますがそれ以上にマンモス化することをさけるとともに、西小の二十四学級、東小の六学級というアンバランスを是正するするために、この機会を純教育的な見地に立つて処理して頂きたいものと提言する次第です。

通学区域の変更は難事中の難事でしようが、住民の理解を得る指導力と熱意いかんにかかることです。

（足寄市街地　T・K生）

読者の室

学園都市は白紙

足寄町議会特別委の感触

足寄町議会の開発促進対策特別委員会では一月二十四日に新沼委員長、香川副委員長、吉田、鳴海、大野委員らが出札して道、道議会、開発局などを訪れて意向を打診してきましたが、高速自動車道の分岐点は本別町の勇足地区におかれることに決定しており、足寄町に学園都市が設けられることになつても変更されることはないという見通しでこれまで各町村毎に設置されるといわれていたインターチェンジについては大きな費用もかかることから、札幌～旭川間あたりでは市でも除かれているところもあり、足寄の場合は本別に近いのであるいは設置されないこともあり得るとのことで、学園都市については道として先般来の新聞報道で有望個所の地名が出ていて、ることに不審がつついて、どこからキヤッチしたのかききたいとのことで、道としては候補地については一切白紙で、知事としては学園都市の第一号を北海道にもつてくることを先決問題にしており、道議会の各党派でもこの問題は正式にとりあげていないそうで、道の段階ではこの程度の感触なので特別員会では二十三日に上京して中央情勢を調べるとともに東京都への特産物供給などについても協議することにしています。

現在、全道で三十五の消防事務組合のなかで変則状態にあるのは十勝の五組合だけで、常に消防関係の全道会議や町村会、助役会あたりでも是正を指摘されており、こんご道の指導に従わない場合は、永年勤続功労者への叙勲や表彰、あるいは補助などにも影響することになるといわれています。

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
㊓久保呉服店
足寄町　T二一四八

春物衣料
株式会社　前田呉服店
足寄町駅前商店街　T二〇二二
が各産地から続々と入荷いたしておりますので御光来、御用命下さい。
物価高に負けないよう足で集めて参りましたので価格も安く、また形も流行品ですので、御満足を得られることと存じますのでお早目に春をお買い下さい。お待ち申し上げます。

技術に生きる！
テレビ　ラジオ　レコード　ステレオ
ーあらゆる電気器具ー
有限会社　ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T 2642

お墓を新造、改造する方など
お気軽にご相談下さい（無料）
ただし毎月18時から20時まで（日曜は随時）
吉相墓研究会
主幹　高本修司
足寄町中央五区　高本とうふ店　T二五〇五

おでん　スナック　シャンブル
足寄町南一区　T二四三九

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
㊐自動車　新津はなや
足寄町西三区　T二六二六

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り　T二五一二

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
二段ベッド　敷物一式　マットレス
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T二四二八

庭石は道東随一の当会社へご用命下さい
造園　土木　造林　造材　請負
有限会社　大浦建設
足寄町芽登　T11
大浦晃

家具　建材　アルミサッシ
既製家具から注文建具
住宅産業に奉仕する！
有限会社　桜井家具建具店
足寄町北五区　T二三六二　工場西五区

一五〇㌢高速ホイルバランサー
レッカー車　RMアクリル調色機
札幌陸運局認証　整備　板金　塗装
新鋭機導入！
ムトウ自動車工業
ボンコツ車買い入れます　足寄町　T二五七八